

総会議事録

1 開催日時

平成23年5月30日（月） 13:30から16:00まで

2 開催場所

山形市役所11階大会議室

3 当日の会員数

個人230名，30団体，141事業者：総数401

4 出席者数

【委任状含】個人157名，23団体，96事業者：総数276（定足数200）

【実出席者】個人53名，18団体，9事業者団体，24事業者：総数104

うち，当日協力スタッフ18名（会場設営，受付ほか）

5 議事の経過及び結果

議長については，規約第11条第2項の規定により，総会出席会員の中から個人会員の荒井安雄さんを選出した。

第1号議案 平成22年度事業報告及び収支決算報告について

承認

第2号議案 平成23年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

承認

役員の紹介

会長 菅野節子

副会長 長瀬洋子，熊谷信一

幹事 中村明千，鈴木隆男（欠席），齋藤淳，
村中秀郎，金澤和子（欠席）

監事 渡辺明，鈴木四季子

6 質疑応答は以下のとおり

第1号議 平成22年度事業報告及び収支決算報告

（質疑①）ごみ減量すすむくんかるたについて，配布先や，かるた大会の今後の開催の予定について教えてほしい。

（村中部会長）市内各幼稚園・保育園・学童保育所等にお配りしているが，現在在庫は無く，今後資源リサイクルに貢献されている企業さんとも連携して，増刷したいと考えている。かるた大会についても，ライオンズクラブさんと確認しながら開催の方向で進めていきたい。

（質疑②）もったいないガイドブックと会員名簿の内容にズレがあるが。

（上野副部会長）ガイドブックは，ご意向を伺って了承して下さったお店を掲載し

ているので、名簿と必ずしも一致しません。

(事務局) 生協リサイクルショップさんが名簿からもれておりましたので、お調べして掲載します。申しわけありません。

(質疑③) ガイドブックの裏面に寄付事業者との記載があるが、決算の欄に、寄付額が載っていないが。

(事務局) 寄付については、市のコミュニティファンドを通しての寄付になるので、決算書には掲載されません。なお、当該事業はレジ袋収益金を社会貢献事業に活用するために設置いただいたものです。

(質疑④) エコキャップ運動について詳しく教えてほしい。どのくらい集まったか公表した方が、市民の協力が得られやすいのでは。

(村中部会長) ①エコキャップ推進協会と②イオングループ独自ルートの二つの流れがあるが、どちらも、ペットボトルのキャップを回収し、その売買代金の一部を途上国に寄付し、それが子供たちのワクチンや文房具などになるというもの。資源再利用を推進するものなので、ごみ減量・もったいないねット山形としてもその運動を推進すべく、エコキャップBOXを作成して広報を行っている。詳しくはもったいないガイドブックのP58をご参照ください。回収回数については、エコキャップ推進協会でご公表している。今後、イオンとの取組みとも合わせ、本会の情報誌などで成果を公表したい。

(質疑⑤) 現在の清掃工場、プラスチックのリサイクル工場、古紙類のリサイクル工場は環境に大変な負荷がかかる。周辺の地域に環境ホルモンの悪い影響があると聞いており、リサイクルは進めるべきではないと考える。この会も行政ももっと勉強すべきだ。

(事務局) 環境に関わる大変大きな問題だが、ここはごみの減量について会員の皆さんに考え、学んでいただく場であるので、貴重なご意見として承りたい。

第2号議案 平成23年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

(質疑①) ダンボールコンポストを使っているが、2つの講座の日程が同じ週になっているので、日程の設定に配慮が欲しい。また、両勉強会の報告を市報などに載せられないのか。

(齋藤部会長) 会場の都合によるものなので、ご理解願いたい。なお、報告についてはHPや情報誌などで行っていきたい。

7 【第二部 情報交換会】

「地球環境に配慮した製品で いっしょに ECO」

講師：花王カスタマーマーケティング株式会社

環境推進室 山本 裕三氏

○花王でも、3Rの活動の中で、「洗剤自体の濃縮」をすすめてきた。従来の4分の1くらいの量になっている。

○もう1つの流れとして、容器もなるべく軽量化している。

例)・硬くて丈夫なプラからつぶせるプラへ（ただし、弱くならないように）

・ギフトの箱を小さめに

・洗剤などは詰め替えをすすめる（容器ごみが8.5%くらい減る）

○リサイクルの推進を進めている

・ペットボトル ⇒ クイックルワイパーのシートになる

・ビン ⇒ カレット ⇒ 化粧品のビンになる

・粉末洗剤の容器 ⇒ 容器 to 容器にはならず、他のボール紙になる

○『みんなで ECO』を進めている … CO2, 排水, 廃棄物も考えよう

年間 675 万 t のエネルギーのうち、35%は企業で減らす部分だが（材料, 商品開発, 運輸）, 残り 65%はお客様が減らす部分（水・ガス等, 廃棄物）であることから

○現在は、『すすぎ1回からの eco』をすすめている。

（質疑①）アタックを使っていて、とてもよく汚れがおちて良いのだが、環境への影響はどうか？

（講師）合成洗剤が水に溶けにくいという事が昔あったが、品質改良を行うとともに、定期的なモニタリングを実施し、従来よりは排水の分解率は上がっている。まだ石鹼に比べて分解率は低いものの、使用量等を勘案すると、環境への影響は同等程度と考えている。

（質疑②）容器について、プラスチックでなくビンを使うという考えはないか？

（講師）運送やお客様の利便性等を考えると、今のところ現実的ではないと考える。

（質疑③）冬期など、洗剤が溶けずに残ってしまうが、どうにかならないものか。

（講師）溶けやすい構造の粉状の洗剤を工夫しているが（中が空洞など）、現在も開発を進めている。